

審査委員会特別賞

Hokkaido CLT Pavilion (北海道旭川市)



＜施設概要＞

北海道産材の新たな用途開拓を狙い、カラマツCLTと国内初となるトドマツCLTを構造利用した実験・展示施設。高度な乾燥技術により寒冷地特有の冬季の過乾燥状態でも収縮・割れを抑制、高付加価値化を達成。

CLTパネル工法の特徴を生かし、厳冬期でも大幅な工期短縮を実現するとともに、積雪の処理、CLTパネルの吸水や内部結露防止にも配慮した、寒冷・多雪地ならではの取組。各種検証実験を踏まえた知見共有により、カラマツ・トドマツCLTによる建築物の普及に貢献。

施主	地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 林産試験場
設計者	株式会社遠藤建築アトリエ
施工者	株式会社京田組
主要構造	木造
階数	地上 1 階
延べ面積	83.44 m ²
主な使用樹種	カラマツ、トドマツ、シラカンバ